

お金の計画

令和 7 年度当初予算が、3 月に行われた第一回定例町議会で審議され、成立しました。当初予算は、一年間の町の総収支額を見積もり、そのお金をどのように生かすのか示したものです。

今月号の特集では、今年度のお金の計画について説明します。

※金額は四捨五入・切り捨て・切り上げをしているため、合計と一致しないことがあります

会 計 名	令 和 7 年 度 当 初 予 算 額	令 和 6 年 度 当 初 予 算 額	前 年 度 か ら の 増 減 額
一 般 会 計	145 億 3,900 万円	136 億 4,300 万円	8 億 9,600 万円
特 別 会 計	8 億 534 万円	7 億 6,594 万円	3,940 万円
国 民 健 康 保 険	5 億 7,824 万円	5 億 4,019 万円	3,805 万円
後 期 高 齢 者 医 療	2 億 875 万円	2 億 1,007 万円	▲ 132 万円
介 護 保 険 サ ー ビ ス	705 万円	804 万円	▲ 99 万円
地 方 卸 売 市 場	1,130 万円	764 万円	366 万円
上 水 道 事 業 会 計	22 億 9,497 万円	31 億 3,914 万円	▲ 8 億 4,417 万円
下 水 道 事 業 会 計	15 億 2,633 万円	13 億 4,340 万円	1 億 8,293 万円
全 会 計	191 億 6,564 万円	188 億 9,148 万円	2 億 7,416 万円

令和 7 年度当初予算は 191 億 6,564 万円に

倶知安町の会計は、一般会計・特別会計・上水道事業会計・下水道事業会計に区分して経理されています。

倶知安町における令和 7 年度予算総額は、各会計を合わせた 191 億 6,564 万円で、前年度比 1.5%（2 億 7,416 万円）の増となりました。

そのうち一般会計は、145 億 3,900 万円で、前年度比 6.6%（8 億 9,600 万円）の増となり、特別会計は、8 億 534 万円で前年度比 5.1%（3,940 万円）の増となっています。

また、上水道事業会計は、22 億 9,497 万円で、前年度比 26.9%（8 億 4,417 万円）の減、下水道事業会計は、15 億 2,633 万円で前年度比 13.6%（1 億 8,293 万円）の増となり、となりました。

? 一般会計

税金を中心とした収入で、福祉や教育、道路など幅広い範囲の事業を行う会計

? 上水道事業会計

独立採算による事業を経理する会計。
主に水道水の供給や水源、水道管の整備や維持管理を行う

? 下水道事業会計

特定の収入で特定の事業を行う会計。
主に下水道管や下水処理施設の整備や維持管理を行う

? 財政に関する用語解説

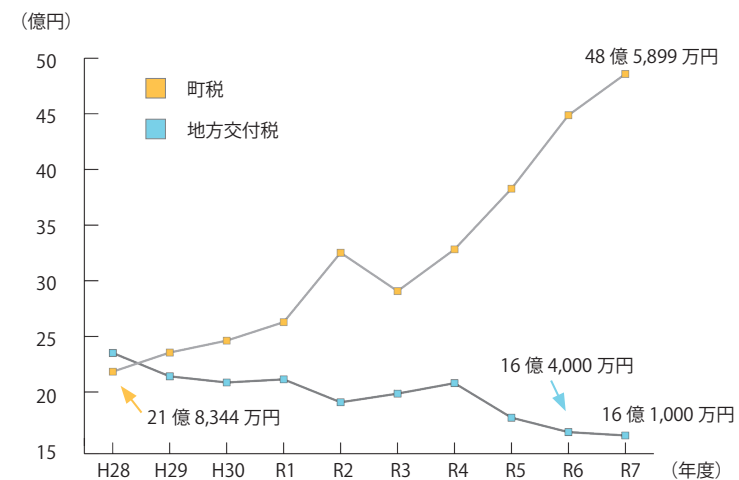
? 特別会計

特定の収入で特定の事業を行う会計。倶知安町の場合、次の 4 つを特別会計として設けている。

- ①国民健康保険事業
主に国民健康保険加入者の医療費を給付する
- ②後期高齢者医療事業
主に 75 歳以上の方の医療費を給付する
- ③介護保険サービス事業
主に地域包括支援などの介護事業の運営管理の費用を支出する
- ④地方卸売市場事業
主に町地方卸売市場施設の維持管理を行う

固定資産税は 10 年前に比べ約 16 億円の増額

町税・地方交付税の推移（平成 28 年度～令和 7 年度当初予算額）



町税は、前年度比 8.3%（3 億 7,179 万円）の増となりました。

大きな割合を占める固定資産税は、平成 27 年度の決算額が 10 億 790 万円でしたが、毎年継続的に増額しており、今年度も伸びを見せ、26 億 711 万円の歳入を見込んでいます。特にニセコひらふ地区における大型物件の新築などが大きな要因となっています。

また、町税の増額に伴い、地方交付税は前年度比 1.8%（3,000 万円）の減額を見込みます。

宿泊税増額見込み インフラの安定化や観光振興施策に

町では、法定外目的税の「宿泊税」を導入しており、観光振興を図る事業の財源として活用しています。

コロナ禍を切り抜け、観光客数が回復したことから、今年度は 5 億 6,000 万円 で前年度比 12.0 %（6,000 万円）の増額を見込みます。

観光客の受け入れ環境整備を行う地域 DMO の倶知安観光協会では、循環バス交通の運行強化や町民割引を利用できる「KutchanID +」などの取り組みを行っています。また、交通や地域理解促進などの分野での活動を発展させるため、組織体制の強化および人材育成が進められています。

そのほか、宿泊税は右表の事業などに活用されています。

宿泊税

活用事業の一例

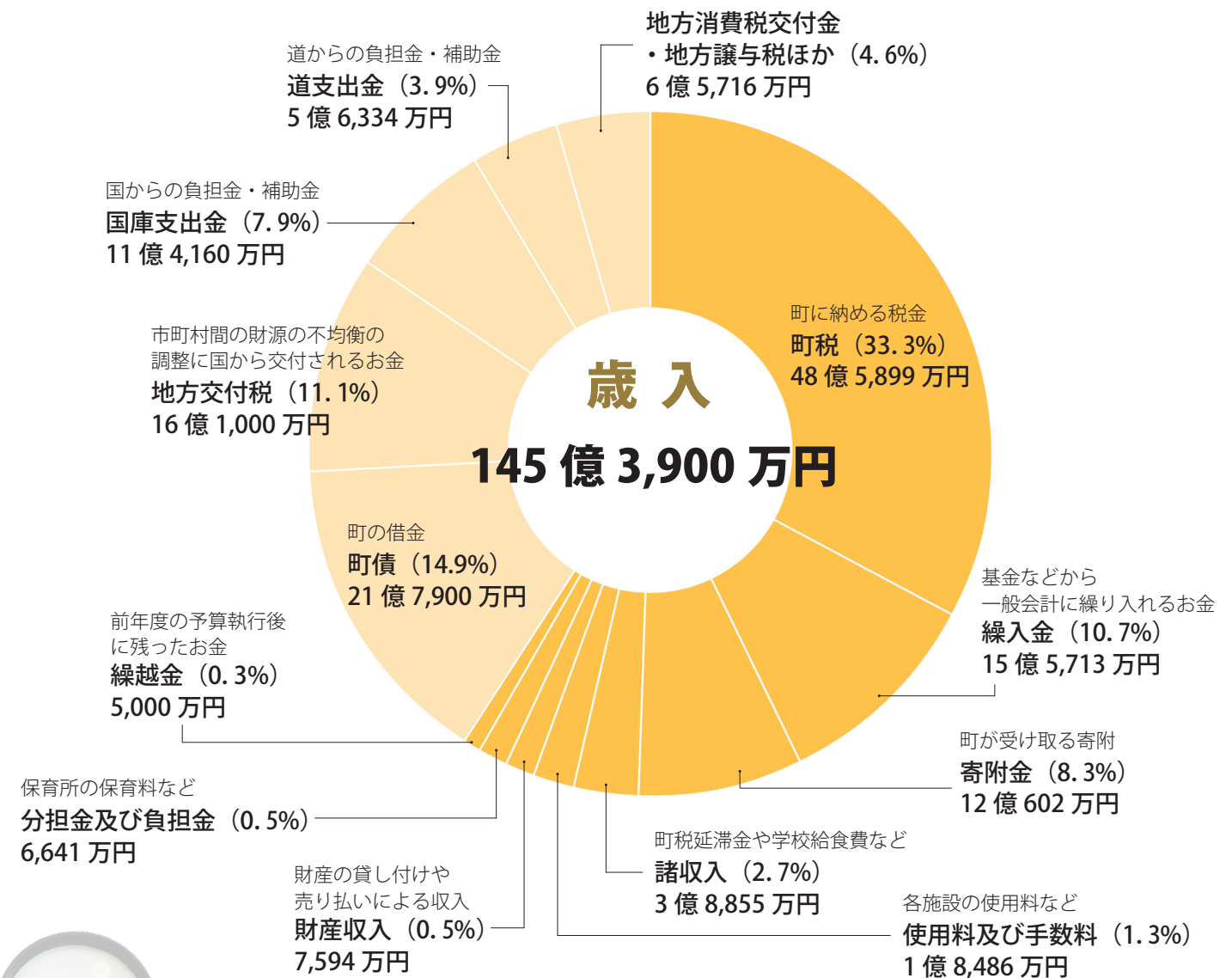
事業費	うち充当額
地域 DMO 支援事業 (DMO：倶知安観光協会)	2 億 5,407 万円 2 億 1,763 万円
ひらふ地区 ロードヒーティング事業	1,789 万円 1,789 万円
ニセコ HANAZONO リゾート 連絡交通補助金	2,040 万円 1,750 万円
ひらふスキー場第 1 駐車場 安全管理事業	1,111 万円 950 万円
ニセコひらふエリア マネジメント交付金事業	921 万円 790 万円
町民向けタクシー確保事業	721 万円 300 万円
ニセコひらふ安全センター 事業（臨時交番の運営）	225 万円 190 万円



自主財源 = 町が自主的に徴収する財源
依存財源 = 国や道から交付される財源
※（ ）内の数字は構成比

歳入

一般会計の



比べる 歳入

前年度と比較し、大幅に増減した項目とその主な要因を説明します。

増加 町税（前年度比 + 3 億 7,179 万円）
固定資産税や入湯税、宿泊税が堅調に伸びていることから増額

増加 繰入金（前年度比 + 2 億 296 万円）
小中学校や文化福祉センターなど町施設の設備更新などを控えるため増額

増加 諸収入（前年度比 + 1 億 447 万円）
標準準拠システム移行のためのデジタル基盤改革支援補助金を計上するため増額

減少 寄付金（前年度比 - 700 万円）
企業版ふるさと応援寄付金の減額が見込まれることから減額

令和 7 年度 主な事業

母子保健健診事業（3,095 万円）

妊産婦の産後うつ予防や子どもの健やかな発達発育を促すため子育て家庭に支援を行う。また、新たに 5 歳児健診を実施する。

こども誰でも通園制度（474 万円）

保育所や認定こども園に在籍していない 2 歳までの未就園児が、ひと月の一定時間に限り保育施設を利用できる制度を秋ころより実施する。

風土館運営事業（2,486 万円）

継続的な運営に加え、7 月からはリピートしやすい年間パスポートの発行などを行う。

文化福祉センター修繕・整備事業（8,443 万円）

訪れる方が快適に利用できるよう、空調設備やエレベーターの設置工事、電気設備の改修工事に必要な設計業務の委託などを行う。

除雪管理システム導入業務委託事業（2,399 万円）

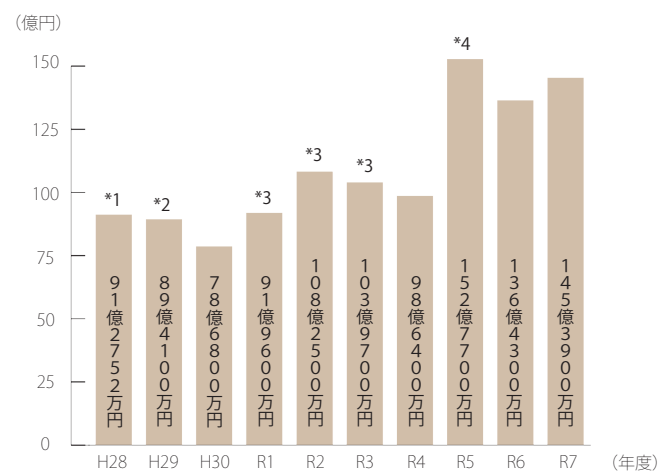
GPS の活用により、さらなる除雪作業の効率化を目指し、町民の方も除雪実施状況を確認することが可能なシステムの導入を行う。

敬老会クーポン券配布事業（539 万円）

町民の長寿を祝う敬老会のお土産品に代わり、町内で利用できるクーポン券の配布を行う。

道路や施設の維持・改良により 予算額は前年度に比べ増額

一般会計予算の推移（平成 28 年度～令和 7 年度）



前年度から引き続き、南 6 条団地建替事業、町営プール絵本館複合拠点施設整備事業などを実施します。また、上に記載する主な事業のほか、町道の道路改良工事、小学校・児童館・旭ヶ丘スキー場の照明器具・街路灯などの LED 化工事、東小学校プール解体工事、文化福祉センター屋上防水工事などを行うことから、町債を借入れ、一般会計予算額は、前年度比 6.6%（8 億 9,600 万円）の増額となっています。

- *1 地産地消食育推進施設（学校給食センター）の建設
- *2 くっちゃん保育所ぬくぬくの建設
- *3 役場庁舎の建設
- *4 ニセコひらふ地区の町有地売却に伴う基金積み立て

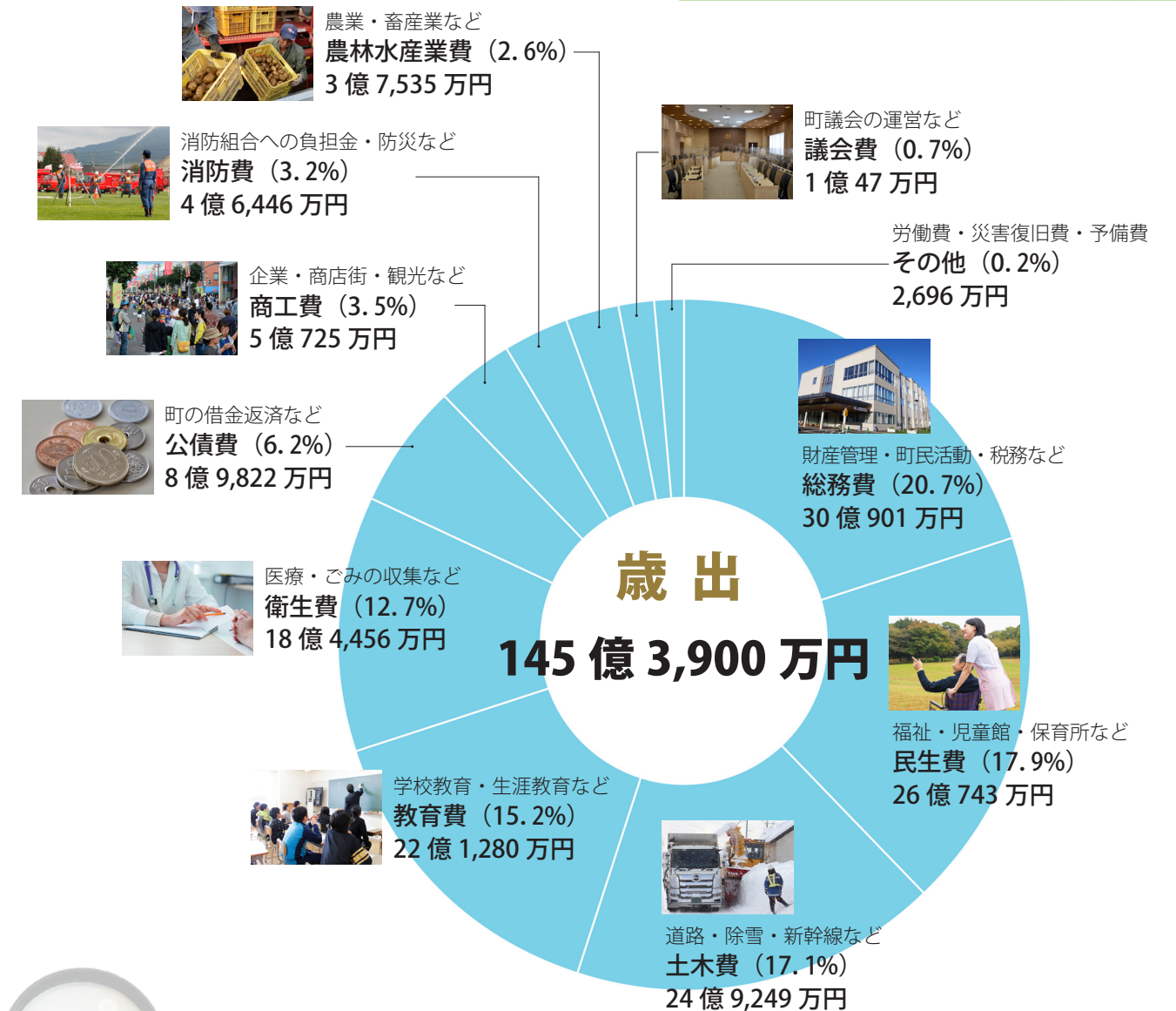
5月1日
発行

令和 7 年度 予算説明書
アクティブくっちゃん
園総合政策課広報広聴係
☎ 56 - 8001

5 月 1 日発行（広報折り込み）予定の予算説明書「アクティブくっちゃん」では、これらの事業をより詳しく紹介するほか、それ以外の事業についても紹介します。

※（ ）内の数字は構成比

一般会計の 歳出



比 べる 歳出

前年度と比較し、大幅に増減した項目とその主な要因を説明します。

増加

教育費（前年度比 + 6 億 6,060 万円）

小学校の照明器具 LED 化やトイレ洋式化工事の実施、総合体育館などの施設予約管理システム導入のため増額

増加

総務費（前年度比 + 2 億 209 万円）

異なる部署で管理している地図情報の統合を行う統合型・公開型 GIS 導入事業や国が求める標準準拠システムへの移行を行うため増額

増加

土木費（前年度比 + 3 億 257 万円）

前年度から続く南 6 条団地の建て替え工事に加え、除雪トラックの購入や公園整備などを行うため増額